



平成28年11月2日

各 位

会 社 名 日 本 ア ン テ ナ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 瀧 澤 豊  
(東証JASDAQスタンダード・コード番号: 6930)  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 清 水 重 三  
TEL 03-3893-5221

## 平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年3月期第2四半期の連結及び個別決算において、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の当社取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期通期業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

### 1. 平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値の差異

#### (1) 連結業績予想値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,400	△160	△190	△110	△8.73
実 績 値 (B)	6,259	△426	△464	△349	△27.89
増 減 額 (B-A)	△1,140	△266	△274	△239	—
増 減 率 (%)	△15.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	7,679	△239	△241	△186	△14.47

#### (2) 個別業績予想値と実績値との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,100	△180	△200	△120	△9.52
実 績 値 (B)	6,080	△439	△480	△360	△28.80
増 減 額 (B-A)	△1,019	△259	△280	△240	—
増 減 率 (%)	△14.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	7,352	△268	△273	△206	△16.05

## 2. 平成29年3月期通期業績予想の修正

### (1) 連結業績予想値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	17,100	460	400	240	19.04
今回発表予想 (B)	15,200	140	80	30	2.40
増減額 (B-A)	△1,900	△320	△320	△210	—
増減率 (%)	△11.1	△69.6	△80.0	△87.5	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	16,378	233	263	118	9.28

### (2) 個別業績予想値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	16,600	420	380	230	18.25
今回発表予想 (B)	14,800	120	60	10	0.80
増減額 (B-A)	△1,800	△300	△320	△220	—
増減率 (%)	△10.8	△71.4	△84.2	△95.7	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	15,813	178	224	96	7.56

## 3. 業績予想との差異の理由

平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績及び個別業績は、期初の想定に比べ、テレビ関連機器の販売や、新築ビル・集合住宅の共聴工事が低調に推移したことや、新製品の市場投入の遅れ、また一部の大型工事に完工の後ろ倒しがあったこと等により、売上高が前回予想を下回りました。

また、利益面につきましても、コストダウンへの取組を継続して行ったものの、売上高の減少による影響が大きく、営業利益、経常利益及び四半期純利益が前回予想を下回りました。

平成29年3月期通期業績予想につきましては、遅れのあった新製品の販売や工事完工を第3四半期以降に見込んでおりますが、テレビ関連機器や関連工事において厳しい事業環境が継続することが予想され、期初の想定に比べ、テレビ関連機器の販売や共聴工事が弱含みに推移し、第2四半期累計期間の減収を補完するのは困難と考えられること等から、前回発表時の予想を修正いたします。

当社の今後の対応といたしましては、引き続き販売・生産体制の強化を図り、シェアの拡大と新しいマーケットの開拓を行うとともに、更なる効率化とコストダウンに努め、収益の改善に向けて邁進いたします。

なお、配当予想につきましては、一株当たり21円の予想を据え置いております。

## 4. 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上